



2006.12
vol. 33

大好き いばらき



大好き いばらき 作文コンクール県知事賞受賞者

特集

『 いばらき教育の日 』 2,3

●大好き いばらき 県民運動表彰式 4

●大好き いばらき “地域づくり” 県民大会 5

●「大好き いばらき エコライフ運動」実施中!! 6

●まなびピアいばらき2006..... 6

○ネットワークカー訪問 7

○大好き いばらき 県民運動活動紹介 7,8

○Information 8

大好き いばらき 県民運動

各地域で行われている青少年育成・福祉・生活環境など、さまざまな分野での活動を、県民や団体、企業、行政が手をつないで支えあい、やさしさとふれあいのある茨城を創っていく運動、それが「大好き いばらき 県民運動」です。

特集

いばらき教育の日

11月1日は「いばらき教育の日」、11月は「教育月間」です。

「いじめ」や「自殺」をはじめ、教育をめぐるさまざまな問題が広がっておりますが、家庭や地域社会の教育力の低下も大きな要因の一つと言えないでしょうか。大好き いばらき 県民会議では平成16年度から「ご近所の底力再生事業」に取り組み、地域と人のつながりを結ぶあいさつ・声かけ運動や、県民の自主的な地域活動への助成など、地域コミュニティにおける教育力の回復に努めております。

また、本月間にあわせて、「いばらき教育の日」の各推進大会に積極的に参加するとともに、教育月間の一環として、県民運動表彰式なども実施しました。

県内でもさまざまな取り組みが展開された11月の「教育月間」を振り返りながら、「地域で何ができるのか、私にできることは何か」、もう一度「教育」について考えてみてはいかがでしょうか。



「いばらき教育の日」推進大会

「いばらき教育の日」推進大会が11月1日（水）水戸市民会館ホールで開催されました。「あいさつ・声かけ運動」標語や「ティーチャー・オブ・ティーチャーズ」（優秀教員）の表彰式をはじめ、県民運動マイスター・茨城大学助教授 長谷川 幸介氏の記念講演、地域での子どもたちの活動や、子どもたちを見守る大人の取り組みなどの実践発表が行われ、県内各地から子どもたちを含め約1,000名が参加しました。

記念講演

地域の教育力と子どもの力

講師 長谷川 幸介 氏（県民運動マイスター・茨城大学 助教授）

県民運動マイスター・茨城大学助教授 長谷川 幸介 氏の記念講演では、豊かになったこの時代に、もっとも子どもたちに伝えなければいけない3つのこと

「かけがえない命を大切にする」

「人はひとりでは生きられない」

「命は、誰のものでもないが皆のもの」

があり「豊かさの中で相互扶助の心が失われかけている。その力を引っ張り出すのが周りを明るくする子どもたちの力なのです。」という話が会場の共感をよんでいました。



実践発表

『3つのあ』守ろう かしい吉田の子

水戸市立吉田小学校（水戸市）

あいさつは仲良くなれる第一歩

青少年を育てるつくば市民の会（つくば市）

輝きアップの地域みんな

串挽学区生涯学習推進会議（鉾田市）



「あいさつ・声かけ運動」実施！

あいさつや声かけをして、大人と子どもの交流を円滑にし、地域社会全体で青少年の健全育成を進める運動とし、「いばらき教育の日」にちなみ、11月1日（水）、大好き いばらき ネットワーカーや青少年育成茨城県民会議、青少年育成関係者、高校生など計250名が参加し、「あいさつ・声かけ運動街頭キャンペーン」を日立・水戸・鉾田・筑西・土浦の県内5カ所で実施しました。

参加メンバーは、それぞれ駅頭などで「あいさつ」から明るい地域社会を築こうと元気にあいさつを呼び掛けました。



みんなで教育を考える 第7回「いばらき教育の日」推進大会

みんなで教育を考える

第7回「いばらき教育の日」推進大会が11月28日（火）県民文化センターで開催されました。

今回の大会は、「近年、様々な教育問題が発生していることから、社会全体で教育の重要性を再認識することが強く求められています。豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりに向けて、さらなる進展に資する。」という趣旨のもとに実施されました。

子どもたちの良い行いを褒め励ます「善行表彰」をはじめ、お茶の水女子大学教授 藤原 正彦氏の記念講演、子どもたちを見守る大人の取り組みなどの実践発表が行われました。

記念講演

21世紀をになう子どもたち

講師 藤原 正彦 氏（お茶の水女子大学 教授）

お茶の水女子大学 教授で「国家の品格」などの著者である藤原正彦氏の記念講演では、「論理的な思考力」「知識」「情緒力」という教育をするうえで大切な3つの点を、分かりやすくかつ明快に、ご説明していただき「昨今、子どもを守り傷つけないことばかりに重点をおき、大事な事が忘れられがちである。教育の基本である読み書きや計算を徹底的に教え、大人が子どもに、卑怯な事は言語道断で悪いと言える事が大切である。」という話が非常に印象的でした。



実践発表

ガソリンスタンドにおいで！困った時のかけこみ110番

茨城県石油業協同組合

黒澤止幾生誕200周年記念事業について

黒澤止幾生誕200周年記念事業実行委員会

子どもの生活、もう一度見つめようー親として出来ること

県北地区PTA連絡協議会女性ネットワーク委員会



表彰

自分・家族・地域社会を見つめ、周囲の人たちへの感謝の心と、夢や希望をもって生活しようとする優秀標語や子どもたちが豊かな心を育てていけるよう、日頃の良い行いを褒め励ます善行表彰、各表彰が行われました。



善行表彰を受けた子どもたち

大好き いばらき 県民運動 表彰式

11月27日(月) 茨城県市町村会館で、第34回花と緑の環境美化コンクール、第17回大好き いばらき 作文コンクールの表彰式を開催しました。

第34回 花と緑の環境美化コンクール

花と緑の環境美化コンクールは、花いっぱい運動ですばらしい成果をあげている地域・団体・職場・学校を表彰し、地域住民及び児童・生徒の環境美化に対する関心・意欲を高め、きれいな地域づくりを促進することを目的に実施しています。

34回目を迎えました今年度は、全部で1,249団体・学校の参加があり、市町村審査、地方審査を経て中央審査に推薦された68団体・学校の表彰を実施するとともに、平成14年度から5年間「花と緑の県民運動モデル指定」の8団体・学校に感謝状を贈呈しました。

岡田三美中央審査委員長(大好き いばらき 県民会議理事)からは、今年の審査で印象に残った花壇や長期間花を咲かせる方法について講評がありました。

参加者は表彰を受けて喜ぶとともに、花いっぱい運動への意欲をさらに高めていました。

茨城県知事賞

□フラワーロードの部



松之草高齢者クラブ松寿会(常陸大宮市)

□地域の部



下垵三世交代交流団体(城里町)

□団体・職場の部



潮来市シルバー緑化推進委員会

□学校の部



水戸市立石川小学校

□学校の部



常陸太田市立河内小学校

□学校の部



潮来市立牛堀小学校

□学校の部



土浦市立神立小学校

□学校の部



茨城県立真壁高等学校(桜川市)

第17回 大好き いばらき 作文コンクール

大好き いばらき 作文コンクールでは、「あたたかな人と人との心の通い合い」をテーマに県内の小・中・高校生から作文を募集、応募総数9,104点の中から49点が表彰を受けました。

家族・友だちや地域の人々との日頃の生活の中でのふれあいを通して学んだことや、「ありがとう」という感謝の気持ちが自分たちの言葉でつづられており、素直な心が感じられるものでした。大内善一審査委員長(茨城大学教育学部教授)からは、文章を書くという表現の大切さと、作文コンクールをとおして考えたことを、大人になっても忘れずに、ふれあいを通し絆を強めてほしいと講評がありました。最後に知事賞を受賞した3名が作品を朗読し、会場から大きな拍手がおくられました。

なお、受賞作品をまとめた「作文コンクール入賞作品集」は、県内小・中・高校等に送付するほか、ホームページにも掲載いたしますので、是非ご一読ください。

茨城県知事賞



おいしいよ おべんとう

高村 一就

(常陸大宮市立山方小学校2年)



お母さんとの約束

田所 諄花

(筑西市立中小学校4年)



忘れない、おんぶした日の約束を

最上 高督

(北茨城市立中郷中学校2年)

大好き いばらき“地域づくり”県民大会

～ “ご近所の底力” で共に創ろう 元気で住みよい地域社会～

これまで地域コミュニティづくりに主眼をおいて開催してきた「ご近所の底力再生事業推進県民大会」。今年度は、より大きな意味での“地域づくり”を図るため、10月19日（木）県民文化センターにおいて、地域づくりに意欲と関心を持つ約1,500人の県民の方々の参加のもと、「大好き いばらき“地域づくり”県民大会」を開催しました。

「“ご近所”から共に創ろう 元気で住みよい地域社会」をテーマに、作家重松清氏を講師にお迎えしての基調講演、ご近所の底力大賞・いばらきイメージアップ大賞の表彰式、ご近所の底力受賞団体等の事例発表が行われました。

表彰式 いばらき ご近所の底力大賞受賞団体

◆まちづくり中央塾 笠間市

平成12年から地域の名所・旧跡の調査や、桜まつり、ホテルの里づくり等に取り組み、地域資源を活用した魅力ある地域の創造に寄与する活動を展開しています。

◆コミュニティ活動活性化竹原地区運営委員会 小美玉市

平成6年から地域の歴史や伝統を活かした各種イベント等を継続的に実施し、活力と連帯感あふれる地域づくりの推進に寄与する活動を展開しています。

◆じゅうにひとえの会 古河市

平成6年から夢追いまつりをはじめ地域に根ざした通年型活動を展開し、地域が一体となった住みよい地域づくりの推進に寄与する活動を展開しています。

◆山王山行政区 五霞町

昭和50年代から20年以上にわたり、世代間交流を目的としたスポーツフェスティバルを開催するなど、地域の連帯感の高揚に寄与する活動を展開しています。



基調講演

「ふるさととは人生の足腰」

講師 重松 清氏（作家）

学校や家庭の問題など現代社会の重いテーマをするどく掘り下げた作品を発表し続けている直木賞受賞作家重松清さんの基調講演。

「近年、家族や友人といった身近な関係【近景】や、本来は遠くにあるのにマスメディアを通して距離が縮まっているように見える関係【遠景】が重要視され、ご近所の人々や学校の行き帰りに会う人々など地域社会との接点【中景】が、失われている。この【中景】をつくり直し、家に帰るだけのお父さんや密室で悩んでいるお母さん方の足腰を支えてやるのが大切です。子どもたちと若い世代に自分の町を好きにならせて下さい。故郷にはその力があります」と地域づくりへの力強いメッセージを寄せられました。



事例紹介

「老人パワーを地域活性化の原動力に」

結城市 見晴町筑望会

町内の高齢者71名からなる見晴町筑望会。毎月のテーマを持った食事会や「筑望会ニュース」の発行などの取り組みに加え、昨年は、次世代を担う子どもたちと積極的に交流しようと、会員が講師となり「面白科学実験室」や「語り部の会」を実施。“連携”という言葉を大切に、お互いを認め合いながら、“あせらず”“あわてず”“あきらめず”をモットーとする取り組みが発表されました。



「“常任防災チーム”による 安心して暮らせる地域づくり」 龍ヶ崎市 南が丘自主防災会

多発する自然災害に対応するため、昨年“常任防災チーム”を設立。

防災訓練、防災マップの作成、防災通信の発行、防災活動マニュアルの作成など、安全・安心な地域づくりを進める取り組みが発表されました。



「住みよいまち 訪れてよいまち」

笠間市 まちづくり中央塾

歴史・文化あふれる地域の良さを後世に継承する目的で、平成12年に設立。歴史勉強会、ししどだより（11回）の発行、ビオトープホテルの里づくり、北山公園桜まつりなど地域の特性を活かしたコミュニティに関する発表が行われました。



『大好き いばらき エコライフ運動』実施中!!

～ 525団体・23,663人が参加・登録 ～ (12月1日現在)

現在、「冬の省エネキャンペーン」を実施しています。
この冬、カンタンにできる省エネと一緒に取り組んでみませんか?

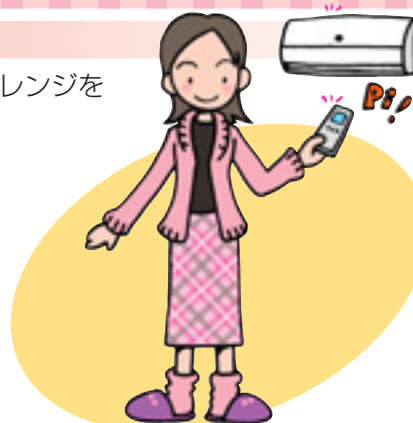
●ウォームビズ

暖房に頼り過ぎず、「動きやすく 暖かく 格好良く」自分なりのアレンジを楽しみながら、新しいライフスタイルにチャレンジ!

- ★ 暖房時の室温は20℃以下にしましょう
- ★ 効率的に体感温度を保つウェアの工夫をしましょう
- ★ 無駄な暖房に頼らないようにしましょう

エアコン (2.2kW) の暖房設定温度を21℃から20℃にすると、
年間で電気 53.08kWhの省エネ、約1,170円の節約になります。

※ 使用時間：9時間/日の場合



●アイドリングストップ

家庭でのエネルギー消費のなんと約48%が自家用乗用車です。
自動車が走っていない時(停車時)にエンジンを止めて、燃料を無駄に消費しない取り組みを実践しましょう!

信号待ちや駐停車などで1日10分間アイドリングストップすると
1日約140cc、年間約51リットルの燃料節約になります。

●エコライフ運動への参加・登録

- ★ このほか、大好き いばらき 県民会議では、茨城県生活学校連絡会とともに、年間を通して、ごみの減量化や省エネを意識した生活を推進する「大好き いばらき エコライフ運動」を展開しています。
1人より2人、2人より3人…仲間を誘って「エコライフ運動」に参加登録してみませんか!
登録すると「登録証」と、人数分の「茨城エコ・チェックシート」をさしあげます。

- ★ また茨城県では、地球環境に配慮した取り組みを積極的に実践している事業所を登録・認定する「茨城エコ事業所登録制度」を実施しています。

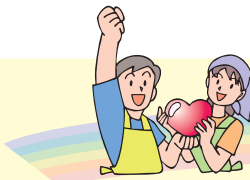
詳細については、電話等でお問い合わせください。 Tel : 029-301-2939 (環境政策課)

★ 第18回全国生涯学習フェスティバル まなびピアいばらき2006

「まなびこそ 輝く あなたの 第一歩」をテーマとした第18回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアいばらき2006」が10月5日(木)～9日(月・祝)の5日間、茨城県立県民文化センター・笠松運動公園を主会場に県内11カ所の市町村や生涯学習センターで開催され、県内のみならず県外から全体で81万2千人、笠松運動公園には20万1千人が訪れました。

笠松運動公園に出展した大好き いばらき 県民運動ブースでは、『やさしさとふれあいのある茨城づくり』県民運動のPRとして、アンケート&クイズ、県民運動のパネル紹介を実施しました。6日(金)・7日(土)と雨天の為に中止となり、3日間の開催となりましたが、4,278名の方々にご参加頂きました。





県民運動を地域で支える

ネットワーカー訪問

大好き かさまネットワーカー連絡協議会

設立：平成18年5月
会長：千代 京
会員数：97名



「大好き かさまネットワーカー連絡協議会」は、現・笠間市で活動している協議会で、平成18年5月15日に旧友部町・旧岩間町のネットワーカー連絡協議会と旧笠間市のネットワーカーを統合し設立された、総勢97名という県下最大の連絡協議会です。

設立時に千代会長は、「活動を行う為には、まず自分たちの地域を知ることから始めたい」として、6月に笠間地区の歴史などを探索しながら、歩道のごみ拾いを実施しました。

また、10月には合併記念として「3地区交流みんなで歩け歩け大会」が市民の交流と健康づくり、そして、市民一人ひとりが「笠間市」に愛着を持ち、市民の一体感を育むことを目的に一般参加者約500名とネットワーカーを中心とした関係団体のスタッフ約150名が参加し、盛大に開催されました。

さらに、11月にはネットワーカー活動推進大会（県北・県央・鹿行ブロック）が笠間市で開催され、同じ目的を達成しようとする仲間が市町村や連絡協議会の枠を超え、協力しあい、事業の運営のみならず、お互いの交流・親睦をはかりました。これらの体験が、今後の活動にどう活かされるのか大いに期待されています。



大好き いばらき 県民運動 活動紹介

ネットワーカー活動推進大会 県北・県央・鹿行ブロック

11月18日(土) 笠間公民館(笠間市)

「新しい地域づくり～今、私たちにできること～」をテーマに、地域住民が自分たちのまちづくりを考えるネットワーカー活動推進大会（県北・県央・鹿行ブロック）が開催され、約300人が参加しました。

大会では、笠間市のまちづくり劇団「表現座HOTARU」によるオープニングアトラクションが行われ、その後、笠間市在住の茨城県歯科医師会東茨城支部食文化研究会 塙章一氏による「人にやさしい健康なまちづくり」の基調講演、地域の課題解決活性化に向けて活動を進めている4団体の活動事例発表が行われました。

また、活動事例発表後には、会場からいろいろ質問等が聞かれ、活発に意見交換が行われるなど、まちづくりをみんなで考えることの出来た大会となりました。



茨城NPOフォーラム2006

9月14日(木) 三の丸庁舎(水戸市)

茨城NPOフォーラム2006が大好き いばらき 県民会議、NPO法人茨城NPOセンター・ commons、(社)茨城県経営者協会、茨城新聞社の共催により県三の丸庁舎で開催され、NPO法人・企業・行政関係者ら約160名が参加しました。

今回は、団塊の世代が大量に退職する2007年に向けて、中高年世代の地域参加支援をテーマに、“中高年世代活躍の場は企業から地域へ”と題した(社)日本フィランソロピー協会高橋陽子理事長による基調講演につづいて、テーマ別の分科会に分かれ、企業やNPO法人などの様々な立場で活動に取り組む方をパネリストに迎えて活発な議論が交わされました。



ひめま流域クリーン作戦

7月29日(土)

茨城町酒沼湖畔

7/29(土)に、「ひめま流域クリーン作戦」を実施しました。

早朝、酒沼自然公園駐車場に約200名が集合し、沿道のごみ拾い作業を実施しました。

燃えるごみ50袋、燃えないごみ40袋、自転車やテレビなどの粗大ごみまで拾うなど、酒沼湖畔の清掃に取り組む一方で、豊かな酒沼の自然環境にも親し

みを深めていました。



霞ヶ浦環境科学センター夏まつり2006

8月26日(土) 霞ヶ浦環境科学センター(土浦市)

8/26(土)に開催された「霞ヶ浦環境科学センター夏まつり2006」に参加し、「大好き いばらき エコライフ運動キャンペーン」を実施しました。

「エコチェックアンケート」により「エコライフ度」を診断したり、一緒に参加した生活学校の皆さんの、洗剤を使わなくてもきれいに食器が洗える「アクリルたわし」や牛乳パックを再利用したブーメ

ランやフリスビーの作成体験コーナーを実施しました。



花いっぱい運動の集い

11月19日(日)

水戸市植物公園

11/19(日)、水戸市植物公園において約100名の参加者のもと「花いっぱい運動の集い」を開催しました。

集いでは、今年度の花いっぱい運動定着化促進事業において支援を認定された36団体・14学校に対して「認定書」「支援金目録」「認定花壇看板」を贈呈。また、昨年度当事業で支援認定された2団体による花いっぱい活動事例発表を行い、参加者の花づくりの参考としていただきました。

終了後には交流会を開催し、相互に親睦を深めていただきました。



Information

行事予定

◆ ネットワーカー活動推進大会 県南・県西ブロック

場 所：筑西市生涯学習センター(ペアーノ)
日 時：平成19年1月21日(日)
午後12時40分～

◆ ご近所の底力 井戸端会議

日 時：平成19年1～2月開催予定

創立50周年記念

あしたの日本を創る運動推進功労顕彰

- ・幡谷 浩史氏(大好き いばらき 県民会議理事長)
- ・廣戸 京子氏(県生活学校連絡会顧問)
- ・古川 稔氏
(塙山学区住みよいまちをつくる会常任相談役)

大好き いばらき 県民会議PR番組放送中!!

IBS 茨城放送で「大好き いばらき 県民会議のPR番組」が放送されています。皆様、是非ご聴取ください。

番組名 田辺昭雄のちょいマジらじお

日 時 毎週火曜日 午前7時20分から

投稿記事を募集しています!

大好き いばらき 広報誌では、皆さまからの投稿記事を募集しています。地域で行われている活動をPRしてみませんか?

詳しくは、下記へお問い合わせください!



大好き いばらき 県民会議

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎2F

TEL 029-224-8120 FAX 029-233-0030

URL <http://business2.plala.or.jp/daisuki/>

E-mail daisuki@atlas.plala.or.jp